

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時36分22秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00681	千里山駅周辺整備事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり			
細節	13	総合的な都市整備の推進/都市機能の向上と市街地の整備			
予算事業	10748	01	08	05 10 01 01 01 01	千里山駅周辺整備事業（千里山駅周辺整備事業費）
所属長	福田 徹二		担当者（内線）三島 聡史（IP501-451）		
根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱				
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	公共施設利用者		
目標	千里山の玄関として安全安心な都市機能と良好な環境を備えた市街地の形成を目指す。		
結果	良好な市街地形成		
事業概要	千里山駅周辺整備事業は駅西側において、駅前にはふさわしいゆとり空間として、ポケットパークの整備や駅アクセス道路の歩道整備等を行います。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	(独) 都市再生機構
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	284,195	286,834	177,187	28,572	66,018
人件費職員数(人)	3.00	4.00	3.00	3.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	31,600	24,156	24,156	15,890
総事業費(A+B)	308,705	318,434	201,343	52,728	81,908
特定財源(C)	55,607	35,254	24,641	6,800	3,585
国	10,440	3,810	24,641	6,800	3,585
府	0	0	0	0	0
その他	45,167	31,444	0	0	0
市負担(D)	253,098	283,180	176,702	45,928	78,323
地方債	77,200	160,500	33,200	3,200	4,800
その他	150,000	19,407	0	0	0
一般財源	25,898	103,273	143,502	42,728	73,523
財源計(C+D)	308,705	318,434	201,343	52,728	81,908

所属	地域整備推進室
事務事業番号	00681

2頁
平成30年 6月 4日
11時36分22秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全体事業費に対する執行事業費の割合	%	目標値	94.46	97.49	100.00
			実績値	94.46	95.60	
			達成度(%)	100.00	98.10	
目標値の積算方法	当該年度までの執行事業費累計/総事業費	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,371.10	551.55	
			一般財源(千円)	1,093.30	446.95	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	道路整備完了延長	%	目標値	78.55	100.00	100.00
			実績値	72.35	80.93	
			達成度(%)	92.10	80.90	
目標値の積算方法	道路整備予定延長を算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,401.30	651.53	
			一般財源(千円)	1,427.41	527.96	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		%	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 レッチワース道路の照明灯整備工事が完了し、駅西側交差点改良工事に着手した。	達成状況 事業全体としては概ね年次計画通りに進んでいる。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	千里山駅周辺整備事業では、平成30年度の事業完了を目指し事業進捗中であり、今後駅西側の駅アクセス道路の整備を進め、良好な市街地の形成に努めます。

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	千里山駅周辺整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00681				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00681
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>妥当性 20 有効性 16 効率性 10 公平性 5 持続可能性 0</p>		
(3)現状分析	<p>駅周辺の交通環境などの地域課題の解消を目的に事業を進捗中であり、平成29年度には駅西側の駅アクセス道路等の整備に着手した。平成30年度は、事業完了をめざし、引き続き駅アクセス道路等の整備を進める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時38分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00699	千里南地区センター再整備事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	13	総合的な都市整備の推進/都市機能の向上と市街地の整備		
予算事業	10747	01 08 05 09 01 01 01	千里南地区センター再整備事業（千里南地区センター再整備費）	
所属長	福田 徹二		担当者（内線）三島 聡史（IP501-451）	
根拠法令等	千里南地区センター再整備事業基本計画（案）、南千里駅周辺地区都市再生整備計画			
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	千里南地区センター		
目標	千里南地区センターの再整備		
結果	地区センターとしての都市基盤等の再整備		
事業概要	千里南地区センター再整備事業は、地域のコミュニティの向上、駅を中心とする交通利便性の向上を目標に、交通広場、公共公益施設、公共広場等の都市基盤の再整備を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	174,692	53,027	227,953	95,724	424,297
人件費職員数(人)	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	19,750	16,104	16,104	23,835
総事業費(A+B)	186,947	72,777	244,057	111,828	448,132
特定財源(C)	44,800	28,039	29,280	54,241	60,000
国	44,800	28,039	29,280	54,241	60,000
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	142,147	44,738	214,777	57,587	388,132
地方債	60,400	10,300	39,500	10,000	81,000
その他	60,000	7,419	0	6,919	0
一般財源	21,747	27,019	175,277	40,668	307,132
財源計(C+D)	186,947	72,777	244,057	111,828	448,132

所属	地域整備推進室
事務事業番号	00699

2頁
平成30年 6月 4日
11時38分06秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全体事業費に対する執行事業費の割合	%	目標値	68.76	74.63	87.47
			実績値	67.91	70.81	
			達成度(%)	98.80	94.90	
目標値の積算方法	当該年度までの執行予定事業費累計/総事業予定費	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,071.67	1,579.27	
			一般財源(千円)	397.86	574.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
歩行者デッキ解体工事が完了し、歩行者デッキ整備及び昇降機設備整備工事に着手した。	達成状況 事業全体としては概ね年次計画通りに進んでいる。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	千里南地区センター再整備事業は、千里ニュータウンの南の玄関口である南千里駅を中心とした地区センターが、開発から60年以上経過し、駅前機能の経年化が進み、様々な市民ニーズへの対応が課題となっている。このため、「魅力あふれるにぎわいのあるまち」を目標に、平成21年度から平成25年度にかけて、駅西側の再整備である都市再生整備計画の第1期事業を完了した。引き続き、平成27年度から平成31年度の5か年で都市再生整備計画の第2期事業で駅東側の再整備を進めている。

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	千里南地区センター再整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00699				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	00699
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>駅中心とした交通利便性の向上、地域コミュニティの活性化等を目標に事業を進捗中であり、平成29年度には、佐竹台デッキ及び昇降機設備工事に着手した。引き続き、平成31年度の事業完了をめざし、佐竹台デッキ及び昇降機設備工事、公共広場整備工事を進める等し、事業を進捗していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
09時47分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01034	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10749	01	08	05	11	01	01	01	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業（南吹田駅前線道路新設費）
所属長	福田 徹二			担当者（内線）	野口 真（IP501-309）				
根拠法令等	都市計画法、道路法、交通バリアフリー法、道路と鉄道との交差に関する協議等に係る要綱								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	都市計画道路南吹田駅前線の未整備区間約390m、駅前交通広場		
目標	大阪外環状鉄道（おおさか東線）の新駅の開業に合わせて平成30年度末までに整備を行う。		
結果	南吹田地域の道路交通の安全確保、おおさか東線新駅のアクセス道路、都市計画道路のネットワークの形成を図る。		
事業概要	南吹田地域における、おおさか東線新駅のアクセス道路や、南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化によって市街化の促進を図るとともに、都市計画道路ネットワークの形成を推進する。また、新駅の開業に合わせて駅前交通広場を整備する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	西日本旅客鉄道株式会社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	JR東海道本線軌道下の道路新設工事
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,231,029	1,978,606	1,932,334	1,525,179	3,020,913
人件費職員数(人)	5.00	4.00	5.00	4.00	5.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	40,850	31,600	40,260	32,208	39,725
総事業費(A+B)	2,271,879	2,010,206	1,972,594	1,557,387	3,060,638
特定財源(C)	582,255	364,806	294,771	284,360	220,230
国	580,800	361,350	287,430	263,856	211,084
府	0	0	0	0	0
その他	1,455	3,456	7,341	20,504	9,146
市負担(D)	1,689,624	1,645,400	1,677,823	1,273,027	2,840,408
地方債	427,600	266,000	211,600	216,300	155,400
その他	1,220,000	781,808	340,000	44,089	2,640,000
一般財源	42,024	597,592	1,126,223	1,012,638	45,008
財源計(C+D)	2,271,879	2,010,206	1,972,594	1,557,387	3,060,638

所属	地域整備推進室
事務事業番号	01034

2頁
平成30年 5月31日
09時47分21秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	西日本旅客鉄道株式会社と平成24年度に基本協定を締結しJR東海道本線軌道下(約90m)の工事を行い平成30年度末完成	千円	目標値	1,587,082.00	1,200,256.00	874,097.00
			実績値	1,587,082.00	1,200,256.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	平成24年度～平成30年度の7か年で工事を完成させる。年度協定金額の出来高比で評価する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.27	1.30	
			一般財源(千円)	0.38	0.84	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	・JR東海道線軌道下(約90m)の工事の進行を管理する。	目標	平成30年度末までに事業を完成させる。
成果内容	・JR軌道下(約90m)の工事進行管理を行った。	達成状況	JR東海道線軌道下の平成29年度末での出来高は87.8%(65億円/74億円)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	南吹田地域での、おおさか東線新駅開業事業と連携を図り、都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業の平成30年度末の完成を目標に、計画的に事業を継続する。		

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01034				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>南吹田駅地域では、都市計画道路十三高槻線の阪急千里線との立体交差も完成した。また、大阪外環状鉄道(おおさか東線)の事業が進捗しており、新駅の開業に向けて、アクセス道路の整備、南吹田地域の道路交通の円滑化のため、本線の整備の必要性が高まっている。また、市民の関心も高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時14分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01035	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	10750	01	08	05 12 01 01 01
所屬長	福田 徹二	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業（千里山佐井寺線道路新		
根拠法令等	都市計画法、道路法、住宅市街地総合整備事業制度要綱			
事業開始年度	平成16年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	都市計画道路千里山佐井寺線 松が丘工区 延長405m 幅員12m		
目標	平成29年度末完成を目標に、千里山・佐井寺地域の骨格となる都市計画道路を整備し、円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成を図る。		
結果	千里山駅周辺への円滑なアクセス動線の確保 地域間の道路ネットワークの充実		
事業概要	国の社会資本総合整備計画「吹田市千里山地区において都市再生機構の建替えと都市基盤施設を総合的・一体的に整備」に基づく、千里山地区住宅市街地総合整備事業における関連公共施設整備として、都市計画道路千里山佐井寺線松が丘工区を千里山駅周辺地域へのアクセス道路として整備する。 都市計画道路千里山佐井寺線 延長405m 幅員12m		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	交付先③		
	□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	523,684	231,735	100,401	273,203	44,848
人件費職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	24,156	24,156	7,945
総事業費(A+B)	548,194	255,435	124,557	297,359	52,793
特定財源(C)	43,842	95,718	0	58,340	0
国	43,725	95,718	0	58,080	0
府	0	0	0	0	0
その他	117	0	0	260	0
市負担(D)	504,352	159,717	124,557	239,019	52,793
地方債	32,100	70,400	0	42,800	0
その他	440,000	4,266	100,000	164,996	40,000
一般財源	32,252	85,051	24,557	31,223	12,793
財源計(C+D)	548,194	255,435	124,557	297,359	52,793

所属	地域整備推進室
専務事業番号	01035

2頁
平成30年 6月 4日
13時14分30秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特別会計で保有する事業用地を一般会計で再取得するとともに、隅切用地等を一般会計で取得する	㎡	目標値	352.02	3.89	0.00
			実績値	352.02	3.89	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	地権者への補償費支払済の用地面積+隅切用地面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	725.63	76,441.90	
			一般財源(千円)	241.61	8,026.48	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	【平成28年度】供用に必要な工事の完成 【平成29年度】供用に必要な工事の完成	%	目標値	100.00	100.00	0.00
			実績値	73.88	100.00	
			達成度(%)	73.90	100.00	
目標値の積算方法	供用開始に向けた工事の進捗率 【平成28年度】100% 【平成29年度】100%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,457.43	2,973.59	
			一般財源(千円)	1,151.20	312.23	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 道路用地については全て取得とするとともに、平成26年度から着手している供用開始に必要な道路工事については全て完成させました。	達成状況 供用開始に必要な道路工事が100%が完成しております。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	供用開始に必要な工事については目標年次である平成29年度末に、完成することができた。

事務事業分析シート

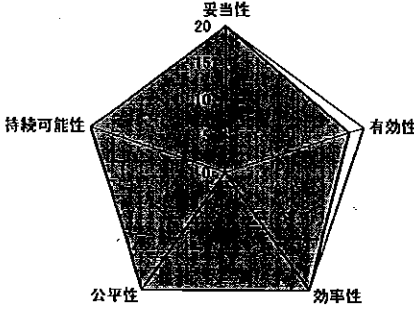
所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01035				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>妥当性 20</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> <p>公平性</p> <p>持続可能性</p>		
(3)現状分析	<p>都市再生機構による千里山団地の建替えに合わせて、千里山駅周辺整備事業として施行していた阪急千里山駅東側の都市基盤施設が完成したことから、千里山駅周辺への円滑なアクセス動線確保のため、本路線の早期完成の必要性が高まっている中、平成30年3月15日に供用を開始することができた。</p> <p>本都市計画道路の完成に伴い、移動時間の短縮、交通事故の減少及び走行経費の削減に加え、避難経路・延焼遮断帯及び緊急輸送路を確保することができた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時46分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01036	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10751	01	08	05	13	01	01	01	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業（岸部中千里丘線道路新
所属長	福田 徹二							担当者（内線）姫井 敬一（IP501-302）	
根拠法令等	都市計画法、道路法、バリアフリー新法								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	都市計画道路岸部中千里丘線 L=550m W=18.5m		
目標	都市計画道路岸部中千里丘線の整備を行う。		
結果	北大阪健康医療都市整備事業区域へのアクセス利便性の向上。安全で快適な都市活動と都市生活の確保。都市計画道路ネットワークの充実		
事業概要	北大阪健康医療都市整備事業において、新たなアクセス道路として位置づけられ、本路線が整備されることにより、操車場跡地から新たな都市拠点への土地利用転換が促進され、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出を基本とし、周辺地域にも寄与する魅力的で個性ある近未来のまちづくり実現に貢献する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,253,131	367,402	2,073,021	1,327,429	1,233,102
人件費職員数(人)	4.00	4.00	4.00	5.00	5.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	31,600	32,208	40,260	39,725
総事業費(A+B)	1,285,811	399,002	2,105,229	1,367,689	1,272,827
特定財源(C)	66,607	62,758	118,204	84,294	44,306
国	54,364	55,000	78,650	77,220	44,220
府	0	0	0	0	0
その他	12,243	7,758	39,554	7,074	86
市負担(D)	1,219,204	336,244	1,987,025	1,283,395	1,228,521
地方債	40,000	40,500	57,900	56,800	32,500
その他	1,140,000	32,417	1,890,000	846,530	570,000
一般財源	39,204	263,327	39,125	380,065	626,021
財源計(C+D)	1,285,811	399,002	2,105,229	1,367,689	1,272,827

所属	地域整備推進室
事務事業番号	01036

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特別会計で保有する事業用地を一般会計で再取得する。	㎡	目標値	2,735.00	1,878.24	3,326.00
			実績値	857.57	653.38	
			達成度(%)	31.40	34.80	
目標値の積算方法	地権者への補償金支払済みの用地面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	465.27	2,093.25	
			一般財源(千円)	307.06	581.69	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	街路築造工事の完成	%	目標値	19.80	100.00	100.00
			実績値	19.80	92.10	
			達成度(%)	100.00	92.10	
目標値の積算方法	供用開始に向けた工事の進捗率	単位当たりコスト	総事業費(千円)	20,151.62	14,850.04	
			一般財源(千円)	13,299.34	4,126.66	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	平成30年度末までに事業を供用を開始する。
成果内容	平成30年度末の供用開始に向けて、関係機関との協議、及び本路線に埋設を行う摂津市下水道部、水道部、本市水道部、下水道部との調整を行う。	達成状況	平成30年度末までに関係機関との協議を終えて供用を開始する。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	北大阪健康医療都市まちづくり事業との連携を図り、都市計画道路岸部中千里丘線の早期完成を目標に、計画的な事業実施を継続する。		

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01036				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01036
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>北大阪健康医療都市整備事業は、主要な政策に位置付けられており、そのアクセス道路として機能する都市計画道路岸部中千里丘線も重要な位置付けとなるため、重点的に進める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年度の要望に対しても、社会資本整備総合交付金の内示率が低かったのですが、30年度から、都市再生整備事業に位置づけられることになり、100%の内示率となった。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時10分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01039	公債費償還事業（公共用地先行取得特別会計・元金）							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	11232	14	01	01	01	01	01	01	公債費償還事業（元金）
所属長	福田 徹二				担当者（内線）竹葉 宣彦（1P501-302）				
根拠法令等	吹田市特別会計条例（及び 公有地の拡大の推進に関する法律）								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	公共用地先行取得事業を目的に、公共用地先行取得特別会計を設置。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	土地開発基金借入金の元金		
目標	土地開発基金借入金の元金を、不動産売払収入により償還する。		
結果	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得していることから、一般会計で再取得する際に、一般会計の歳入として国庫補助金を充当することができる。		
事業概要	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得する際に借り入れた土地開発基金の元金を、後年度に一般会計で再取得する際に償還するものである。なお、元金償還の財源については、不動産売払収入を充当するものであるが、一般会計での再取得の際に国庫補助金を受けることが可能となる。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	616,572	257,825	358,746	100,777	558,657
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	616,572	257,825	358,746	100,777	558,657
特定財源(C)	616,572	257,825	358,746	100,777	558,657
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	616,572	257,825	358,746	100,777	558,657
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	616,572	257,825	358,746	100,777	558,657

所属	地域整備推進室
事務事業番号	01039

2頁
平成30年 6月 4日
16時10分06秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般会計で土地を再取得し、元金を償還する	㎡	目標値	3,245.99	1,878.24	3,326.00
			実績値	1,392.98	653.38	
			達成度(%)	42.90	34.80	
目標値の積算方法	一般会計で再取得予定面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	185.09	154.24	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	元金の償還であるため、活動指標と成果指標は同一になる。
	達成状況
	適切な時期に、一般会計で土地を再取得することにより、適正な事業実施ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を、後年度に一般会計で再取得するにあたっては、一般会計での予算額及び国庫補助金の内示額に応じて再取得することが可能となることから、一般会計において、効率的な国庫補助金を受けることが可能となる。このため、財源確保を目的とした本事業は、継続していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	公債費償還事業(公共用地先行取得特別会計・元金)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01039				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	97	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。	0	内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)		97	
※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、吹田市土地開発公社の解散に伴い、用地取得にかかる国庫補助金を効率的に収受するために設けた用地取得事業(公共用地先行取得事業)の財源として借り入れた基金等の元金を償還するものである。本事業を実施することにより、用地先行取得にかかる財源については、吹田市土地開発基金等からの借入れを可能にするとともに、償還時に、効率的に国庫補助金を収受することができ、財源の確保につながる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を一般会計で再取得する際の国庫補助金の内示額が要望額に満たない場合であっても、公共用地先行取得特別会計で用地を保有することが可能となり、内示額にあわせて、一般会計で用地を再取得することができ、一般会計で実施している都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業で、効率的に国庫補助金を収受することができ、効率的な財源確保を行うことが可能となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時12分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01040	公債費償還事業（公共用地先行取得特別会計・利子）							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	11233	14	01	01	02	01	01	01	公債費償還事業（利子）
所屬長	福田 徹二				担当者（内線）竹葉 宣彦（IP501-302）				
根拠法令等	吹田市特別会計条例（及び 公有地の拡大の推進に関する法律）								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	公共用地先行取得事業を目的に、公共用地先行取得特別会計を設置。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	土地開発基金借入金の利子		
目標	土地開発基金借入金元金償還にあわせて、土地開発基金借入に伴う利子を、不動産売払収入により償還する。		
結果	土地開発基金借入に伴う利子を支出することとなるが、公債費償還事業（公共用地先行取得特別会計・元金）において、土地開発基金借入金の元金を償還する際に、一般会計の歳入として国庫補助金を充当することができる。		
事業概要	公共用地先行取得特別会計で土地を先行取得する際に借り入れた土地開発基金の元金を償還するにあわせて、借入に伴い生じた利子を償還するものである。なお、利子償還の財源については、不動産売払収入を充当するものであるが、一般会計での再取得の際に、国庫補助金を受けることが可能となる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,720	204	1,679	472	2,642
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	3,720	204	1,679	472	2,642
特定財源(C)	3,720	204	1,679	472	2,642
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,720	204	1,679	472	2,642
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	3,720	204	1,679	472	2,642

所属	地域整備推進室
事務事業番号	01040

2頁
平成30年 6月 4日
16時12分17秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般会計で土地を再取得する際に、利子を償還する。	㎡	目標値	3,245.99	1,878.24	3,326.00
			実績値	1,392.98	653.38	
			達成度(%)	42.90	34.80	
目標値の積算方法	一般会計で再取得予定面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.15	0.72	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	利子の償還であるため、活動指標と成果指標は同一になる。
	達成状況 適切な時期に、一般会計で土地を再取得することにより、適正な事業実施ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を、後年度に再取得することから、土地開発金借入に伴う利子を支出することとなるが、再取得にあたっては、一般会計での予算額及び国庫補助金の内示額に応じて再取得することが可能となることから、一般会計において、効率的な国庫補助金を受けることが可能となる。このため、効率的に国庫補助金を受けるために必要な本事業は継続していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	公債償還事業(公共用地先行取得特別会計・利子)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01040				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
②サービスの水準は適正ですか。			
内部管理	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01040
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、吹田市土地開発公社の解散に伴い、用地取得にかかる国庫補助金を効率的に収受するために設けた用地取得事業(公共用地先行取得事業)の財源として借り入れた基金等の元金を償還するものである。本事業を実施することにより、用地先行取得にかかる財源については、吹田市土地開発基金等からの借入れを可能にするとともに、償還時に、効率的に国庫補助金を収受することができ、財源の確保につながる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共用地先行取得特別会計で先行取得した土地を一般会計で再取得する際の国庫補助金の内示額が要望額に満たない場合であっても、公共用地先行取得特別会計で用地を保有することが可能となり、内示額にあわせて、一般会計で用地を再取得することができ、一般会計で実施している都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業で、効率的に国庫補助金を収受することができ、効率的な財源確保を行うことが可能となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調査

事務事業名	都市計画道路佐井寺片山高浜線道路新設事業				
担当部名	土木部	室課名	地域整備推進室	室課長名	福田 徹二

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法、交通バリアフリー法						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 06 安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 50				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他				
		目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画道路佐井寺片山高浜線の未整備区間約1,140m				
		結果(どのような効果が得られるのか)		市域の南北交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成、都市計画道路のネットワーク形成を図る。				
(7)	事業概要	本路線は旧市街地とニュータウンを結ぶ道路であり、市域の南北交通を確保する主要な幹線道路を整備する。						
(8)	H28事業別予算コード	会計	款	項 目				
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		0	0	0	0	0
		人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B) 千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	0		0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			主な委託内容	②				
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③				
内容								
<input type="checkbox"/> その他								

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00	
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00	
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容	都市計画道路整備に向けた調査・検討。		目標	平成30年度から佐井寺西土地画整理事業での整備に向けて検討する。	
	②	成果内容	整備予定区間の用地取得及び道路新設工事の完成		達成状況	平成29年度は予算要求していないため、達成状況に変化なし。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本路線は旧市街地とニュータウンを結ぶ主要な幹線道路であり、利用者の最短経路での走行時間の短縮、走行経費の削減、安心安全なみちづくりによる交通事故の減少が図られる。また、生活道路への通過交通の流入を防止するとともに地域間ネットワークが形成される。佐井寺西土地画整理事業の事業認可に合わせて、廃止する予定である。				

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路佐井寺片山高浜線道路新設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01319				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

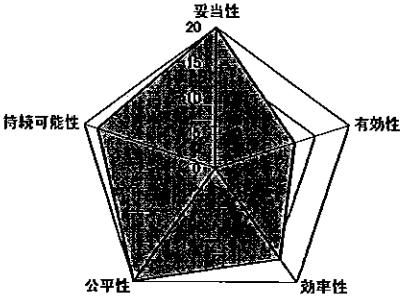
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点	
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01319
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>旧市街地と千里ニュータウンを結ぶ路線であり、市域の南北交通を確保するため本路線の整備の必要性は高く、また、市民の関心も高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>平成29年度までは予算要求は行わず、関係機関との協議を行う。 平成30年度から佐井寺西土地区画整理事業において調査・設計の着手を目指す。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時16分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01485	都市計画道路維持管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10723	01	08	05	03	01	01	01	都市計画道路維持管理事業（都市計画道路維持管理費）
所属長	福田 徹二			担当者（内線）	正本 博久（IP501-308）				
根拠法令等	都市計画法、道路法								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	都市計画道路事業用地（未事業化路線）		
目標	都市計画道路事業用地の健全な維持管理		
結果	周辺生活環境の保全、事故や不法占用等の防止		
事業概要	都市計画事業認可を受ける以前に都市計画道路事業予定地として取得した用地を事業実施までの期間、適正に維持管理する。 ・用地杭設置、除草等委託業務 ・フェンス設置等維持管理工事		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	360	0	360	0	360
人件費職員数(人)	1.00	0.00	1.00	0.00	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	0	8,052	0	3,973
総事業費(A+B)	8,530	0	8,412	0	4,333
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,530	0	8,412	0	4,333
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,530	0	8,412	0	4,333
財源計(C+D)	8,530	0	8,412	0	4,333

所属	地域整備推進室
事務事業番号	01485

2頁
平成30年 6月 4日
13時16分47秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	都市計画事業認可を受ける前に取得した事業用地を、事業実施までの間、適正に維持管理を行う。	目標	事業予定地を適正に維持管理することで周辺生活環境の保全や事故及び不法占用等の予防を図る。
成果内容	都市計画道路事業予定地の維持管理	達成状況	苦情等もなく、維持管理できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	都市計画道路事業としての事業用地であることから、事業実施までの期間、今後も引き続き適正な維持管理を行う必要があります。

事務事業分析シート

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路維持管理事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01485				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画道路事業は市街地で行われるため、市街化の更なる発展や土地の細分化等により用地取得が困難化し、事業期間の長期化や事業費の増大を招くことがあります。したがって、事業用地の先行取得は事業実施を円滑に進めるために有効な手段です。</p> <p>最近の厳しい財政状況の中では、事業実施時期が未定の路線については積極的な用地先行取得は行っていないものの、開発に伴う帰属や寄付等の理由により、事業用地を取得する場合もあり、これらの事業用地を事業実施までの期間、適正に維持管理を行う必要があります。</p> <p>また、当面事業実施予定のない箇所については、運動広場や貸農園等として土地の有効利用を図るとともに、維持管理のコスト縮減を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
09時59分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011040000	地域整備推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01643	都市計画道路南吹田駅前線関連道路整備事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	11699	01 08 05 11 01 02 01	都市計画道路南吹田駅前線関連道路整備事業（南吹田駅前線道路新	
所属長	福田 徹二	担当者（内線）野口 真（IP501-309）		
根拠法令等	道路法、交通バリアフリー法			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	おおさか東線高架横断道路、市道南吹田57号線歩道整備ほか南吹田地域の道路網整備		
目標	大阪外環状鉄道（おおさか東線）の新駅の開業に合わせて平成30年度末までに整備を行う。		
結果	おおさか東線新駅のアクセス確保、南吹田地域の道路交通の安全確保を図る。		
事業概要	南吹田地域における、おおさか東線新駅のアクセス道路や南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化によって、市街化の促進を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	70,460	2,426	369,117	214,003	371,785
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	86,800	18,226	385,221	230,107	387,675
特定財源(C)	0	0	15,675	29,939	23,951
国	0	0	15,675	29,939	23,951
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	86,800	18,226	369,546	200,168	363,724
地方債	0	0	0	0	143,600
その他	0	0	0	4,734	140,000
一般財源	86,800	18,226	369,546	195,434	80,124
財源計(C+D)	86,800	18,226	385,221	230,107	387,675

所属	地域整備推進室
事務事業番号	01643

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全体事業費に対する執行事業費の割合	%	目標値	2,425.68	214,003.00	371,785.00
			実績値	2,425.68	214,003.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	当該年度までの執行事業費累計/総事業費	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.51	1.08	
			一般財源(千円)	7.51	0.91	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 おおさか東線高架横断道路の整備。 市道南吹田57号線歩道ほかの整備。	達成状況 事業全体として、おおむね年次計画通りに進んでいる。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	南吹田地域での、おおさか東線新駅開業事業や南吹田駅前線立体交差事業と連携を図り、平成30年度末の完成を目標に、計画的に事業を継続する。

事務事業分析シート

2018/6/416:30

所属名	地域整備推進室	事業名	都市計画道路南吹田駅前線関連道路整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01643				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域整備推進室	事務事業番号	01643
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>南吹田駅地域では、都市計画道路十三高槻線の阪急千里線との立体交差も完成した。また、大阪外環状鉄道(おおさか東線)の事業が進捗しており、新駅の開業に向けてアクセス道路の整備や南吹田地域の道路交通の安全確保とその円滑化の必要性が高まっている。また、市民の関心も高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)